

津山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語検定II
科目基礎情報						
科目番号	0052		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材	必要に応じて各自問題集などを購入する。一部図書館にも準備している。参考書：TOEIC L&R公式ガイド&問題集，英検2級全問題集 など					
担当教員	山口 裕美					
到達目標						
学習目的：学習した英語の知識，コミュニケーション能力をTOEIC L&Rの得点または実用英語技能検定に合格することで確認する。						
到達目標： 1：英語での4技能を活用し，関係者を納得させることができる。 2◎：情報を適正に判断し，発信でき，また効果的に活用できる。 3◎：情報や知識を表現し，自分の意見を展開し，具体的に行動できる。 4◎：自分の長所を活かすべく時宜を得た行動ができる。 5◎：自ら律して行動でき，目標達成のために対処することができる。						
ルーブリック						
	優	良	可	不可		
評価項目1	TOEIC L&Rスコア480以上取得もしくは実用英語技能検定2級に合格したうえで，英語での4技能を活用し，関係者を納得させることが，十分できる。	TOEIC L&Rスコア480以上取得もしくは実用英語技能検定2級に合格したうえで，英語での4技能を活用し，関係者を納得させることができる。	TOEIC L&Rスコア480以上取得もしくは実用英語技能検定2級に合格したうえで，英語での4技能を活用し，関係者を納得させることが最低限できる。	TOEIC L&Rスコア480に満たない，もしくは実用英語技能検定2級に合格できず，英語での4技能を活用し，関係者を納得させることができない。		
評価項目2	情報を適正に判断し，発信でき，また効果的に活用することが十分できる。	情報を適正に判断し，発信でき，また効果的に活用できる。	情報を適正に判断し，発信でき，また効果的に活用が最低限できる。	情報を適正に判断し，発信できず，また効果的に活用できない。		
評価項目3	情報や知識を表現し，自分の意見を展開し，具体的に行動することが十分できる。	情報や知識を表現し，自分の意見を展開し，具体的に行動できる。	情報や知識を表現し，自分の意見を展開し，具体的に行動が最低限できる。	情報や知識を表現したり，自分の意見を展開したり，具体的に行動できない。		
評価項目4	自分の長所を活かすべく時宜を得た行動が十分できる。	自分の長所を活かすべく時宜を得た行動ができる。	自分の長所を活かすべく時宜を得た行動が最低限できる。	自分の長所を活かすべく時宜を得た行動ができない。		
評価項目5	自ら律して行動でき，目標達成のために対処することが十分できる。	自ら律して行動でき，目標達成のために対処することができる。	自ら律して行動でき，目標達成のために対処することが最低限できる。	自ら律して行動できず，目標達成のために対処することができない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	一般・専門の別：一般 学習の分野：外国語 必修・履修・履修選択・選択の別：選択 基礎となる学問分野：英語・英米文学・言語学・音声学 学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（5）国際性に富んだ人材を育成するための幅広い教養を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（F）コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成，F-3：技術者に必須の外国語である英語でコミュニケーションができること」である。 授業の概要：国際的コミュニケーション能力が求められている現在，学校において英語を教えられただけでなく，自主的に学習することが必要である。					
授業の進め方・方法	担当教員指導のもとに，TOEIC L&Rまたは実用英語技能検定のための問題演習を中心に各自の能力に応じて自主的に学習を進めていく。また，定められた時間には，適宜質問を受け付けるとともに指導を行う。実用英検2次試験に向けては，希望者には個人的に面接指導も行う。 成績評価方法：TOEIC L&Rで480点以上または実用英語技能検定2級を獲得した者は，担当教員に申し出るとともに，その年度内の別途指示された日時までに教務委員会へ単位取得申請を行うこと。教務委員会で審議し，単位が認定された場合の評価は「合格」とする。なお，校内で実施されるTOEIC L&R -IPテストのスコアも本科目に該当するので留意すること。加えて，校外で実施されたIPテストスコアは対象外である。					
注意点	履修上の注意：所定の期日までに選択科目履修願を提出すること。本科目は資格取得による科目であり，単位の取得には単位認定取得申請手続きを行うことが必要である。なお，「英語検定I」および「英語検定II」の両方の履修願を提出している場合に，「英語検定II」の認定条件を満たしたとき，「英語検定I」も認定されるので注意が必要である。選択科目のうち教務委員会で認定できる単位数は，一般科目については4単位以内である。 履修上のアドバイス：自学自習をし，問題に多くあたる必要がある。 基礎科目：英語Ⅰ（1年），英語演習Ⅰ（1），英語Ⅱ（2），英語演習Ⅱ（2），英語Ⅲ（3），英語検定Ⅰ（2-5） 関連科目：英語Ⅳ（4），選択英語Ⅰ（4），英語Ⅴ（5），選択英語Ⅱ（5） 受講上のアドバイス：TOEIC L&R公開テストは年3回津山市内の本会場で受験できる。岡山では，年8回が予定されている。コンビニエンスストアやインターネットを通じて申し込むことができる。詳細はTOEICの公式ホームページを参照すること。< http://www.toeic.or.jp/ > 実用英語技能検定は，筆記試験・リスニング試験の1次試験に合格した後，面接試験（リーディングとスピーキング）の2次試験に合格する必要がある。年3回実施され，津山市内の会場で受検することができる。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	●ガイダンス		履修方法を理解する。	

[illegible]

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	50	0	0	0	0	0	50